

## ○童話に学ぼう

10連休はどのように過ごしましたか？様々な場面で、「GWを楽しもう！」と宣伝していたので、それに釣られて、遊び・旅行・ゲーム・ネットを満喫した人も多いのではないのでしょうか。しかし、その行動は進路に結びつくでしょうか？たとえば、大学入試を考えている人がゲームばかりしていても、結果につながる可能性は限りなくゼロに近いのは誰もが分かると思います。大学だけでなく、短大・専門・就職どの進路にしても、重要なのは、周りに差をつけることです。アリのように毎日努力するのはもちろん、カメのように、他の人が休んでいる間に、努力し続けることが必要なのです。

## ○スケジュール管理と踏み出す一歩

新生活に慣れましたか。中間考査までちょうど後1か月になりました。まず教科の学習に取り組みましょう。また、提出物は絶対に期限に遅れないように。学校では期限を過ぎても認めてもらえる場合があっても、社会では期限に遅れても大丈夫という考えは通用しません。特に1年生は最初が肝心です。また、勉強以外では、部活動に加入したり、ボランティアに参加したりしよう。また体育祭(5/31)には積極的に参加しよう。

## ○テスト勉強とは毎日の予習・復習のこと

5月22日(水)に実力テスト(1・2年は国語・数学・英語・適性検査、3年は希望進路に合わせて選択)があります。適性検査に関して、1・2年生では就職試験で多く使われるSPI形式の検査を行います。3年生は4月初めに厚生労働省一般職業適性検査とクレペリン検査を実施しました。ただ入学試験や就職試験においては、やはり基礎学力が基本となります。

毎日の授業・予習・復習で実力をつけて、その実力を測るのがテストです。決して「1週間前からテスト勉強を始めればいい」なんて意識は持たないように。また各学年で進路ガイドンスもあります。また当日「進路意識チェック」もあるので、希望進路などが書けるように準備しましょう。

さらに、これから本格的に全学年対象で英語検定と漢字検定を実施します。様々な取得資格を進学や就職に活かした卒業生もいます。また、3年生では各種進路希望に対応した模試(大学・看護・SPI)を行っています。1・2年生向け模試も計画しています。全て希望者対象ですが将来必要になる人は必ず受けましょう。今後の進路希望実現に向け具体的な目標設定をするためには能勢高校・能勢分校の中の順位だけで満足してはいけません。模試を受けて“今”の自分の実力が日本ではどの程度なのかを測っておくことが大切です。

## ○校内選考会議(3年生)

### ●選考会議の基準

「評定平均値」「欠席日数」「部活動」「生徒会活動」「ボランティア活動」  
「インターンシップ参加(就職)」「取得資格」等、総合的に評価・判定する。  
頭髪・服装を含め「学校の指導(校則)」に従うことが最低必要条件。

学校紹介就職や指定校推薦などの応募者を選考するために、校内選考会議で推薦者を決定します。能勢高校でのそれまでの成績や欠席日数が基本になり、「評定平均値」は全ての定期考査と毎日の授業への取り組みの積み重ねです。また、就職試験・A0入試・指定校推薦入試等では「面接試験」があります。面接でよい印象を与えるためには、いつでも服装・頭髪・態度・言葉遣いをきっちりし、常に「できるようになる」必要があります。誰が見ても「やる気がある」ように振る舞うことで、結果的に自分の未来が開けていくのです。